



メンタルヘルス対策に焦点をあてた

平成27年度

# 名北・尾北労働災害防止大会

開催

―事業主、安全衛生担当者、第一線監督者250名が参加―



盛況の名北・尾北労働災害防止大会(安全講話から)

去る3月1日、名北・一宮・津島・瀬戸・江南の各労働基準協会主催、名古屋北・一宮・津島・瀬戸・江南各労働基準監督署、小牧市、春日井市、小牧・春日井・江南・犬山各商工会議所後援のもと、

と、小牧勤労センターにおいて「平成27年度名古屋・尾北労働災害防止大会」を開催しました。

同大会は、名北・尾北地域が合同で、各管轄地域の全業種を対象に行い、事業主、安全衛生・労務人事担当者及び現場の第一線監督者など約250名が参加しました。

当日は、はじめに当



林健康課長



松田安全衛生課長

協会 宮原尚利小牧支部長(住友理工(株)安全環境統括部部长)による開会挨拶、愛知労働局 林敏明健康課長による大会挨拶がありました。その後、名古屋北労働基準監督署 松田成正安全衛生課長より「労働災害発生の現状と問題点について」と題し、名北・尾北地域の労働災害発生状況や災害発生の事例について安全講話がありました。

次に、三菱電機(株)名古屋製作所産業医 富田晃行氏より「高ストレス社会に働くストレスチェックの先へ、皆で生き抜く」と題した特別講演がありました。講演では、労働者を取り巻くさまざまな環境の変化から最近のメンタルヘルス不調の傾向、また、ストレスチェック制度の導入とその後の対応、高ストレス社会で働くための心構えなどについて解説がありました。その後、労働劇「まさかパワハラ加害者に



宮原小牧支部長



富田産業医



棚橋専務理事

なるなんて〴〵を上演しました。劇の脚本・劇中の解説は、フーリッシュ社労士事務所所長で当協会労働相談員・産業カウンセラー・特定社会保険労務士の新美智美氏、ま



労働劇の解説をする  
新美産業カウンセラー



労働劇  
(お弁当の製造ラインより)

た劇の出演は当協会の職員10名が担当しました。劇では、新任ライン長の熱意溢れる指導が行き過ぎ、パート社員に対するパワーハラを起点としてしまう様子、パワーハラが会社と与える影響やライン長の心の葛藤などを訴え、パワーハラメントにならないための指導方法について、劇を通して分かりやすく伝えました。



労働劇  
(会社と合同労組との団体交渉)

労働基準協会 棚橋英明  
専務理事が閉会挨拶を行いました。

目次

「過重労働解消キャンペーン」の重点監督結果……………2  
 行政の焦点……………5  
**名北・尾北労働災害防止大会開催**……………6  
 質問にお答えします……………9  
 弁護士に聴く(25)……………宮澤俊夫 15  
 おくのほそ道安全衛生・労務管理紀行(完) 石田幹夫 16  
 社会保険労務士が答える企業の労務管理(7) 木矢真由美 17  
 挑戦……………小林暢一 18  
 こちら企業の労働110番です(65)……………市之瀬高司 19  
 愛知紛争調整委員続・残月録(61)……………小栗利治 20  
 わたしのジ・ハード(160)……………植田美津恵 21  
 近景遠景(31)……………中澤 誠 22  
 名北セーフティ・アドバイス(111)……………山&神 23  
 表紙Ⅱしだれ桜……………伊藤富雄

労働〇×クイズ ⑬

問 営業車の事故が相次いだため、  
事故を起こした場合、運転者から1回につき5万円を損害賠償金として徴収する旨を就業規則に追加した。



答えと解説は12ページをご覧ください。